

関西発
NOW



うめきた広場でのイベント「ゆめが丸祭」(提供: 一社グランフロント大阪TMO)



グランフロント大阪のオープンカフェ
(提供: 一社グランフロント大阪TMO)



あべの筋を走る「 tram T」(提供: 阪神電気鉄道(株))



あべの筋に面するあべのハルカス(提供: 近畿日本鉄道(株))

関西発 まちづくりに吹く新しい風 ～都心部におけるエリアマネジメントの現在～

関西では、昨春のグランフロント大阪、今春のあべのハルカスと、大規模施設が相次いで開業し話題を呼んでいる。これらの施設を中心とするエリアでは、「ソフトのまちづくり」であるエリアマネジメント活動が活発化している。関西発は、京阪神のまちづくり団体、自治体等をメンバーとしたエリアマネジメントに関する検討会を主催している。ここでは、検討会メンバーによる活動を中心とした、関西都心部におけるエリアマネジメントの現在を紹介する。

グランフロント大阪のエリアマネジメント

多彩な魅力にあふれるグランフロント大阪は、立地のよさもあり、開業後1年間の来場者が延べ5,300万人と、驚異的な集客力を示した。グランフロント大阪は多種多様でユニークなまちづくりを展開していることでも知られ、(株)KMOと(一社)ナレッジキャピタルによるナレッジキャピタルの運営や、開発地区全体のエリアマネジメントを行う(一社)グランフロント大阪TMO(以下、TMO)による取り組みが進められている。ここでは、関西における先進的なエリアマネジメントを展開しているTMOの活動に

ついて紹介する。

■ TMOのまちづくり推進事業

TMOはグランフロント大阪の価値の最大化とまちのブランド構築を目的に設立され、「新しい参加型のまちづくり」をテーマに、まちづくり推進事業とプロモーション事業の2つを柱として活動している。

● 公共的空間の維持管理・運営

一まちづくり推進事業

TMOは、うめきた広場、けやき並木といちよう並木の歩道、ナレッジキャピタルの中心に位置する7層吹き抜けの空間、ナレッジプラザ等の管理を行っている。また、西日本で初めて道路占用許可の特例^{*1}を活用し、公道上での常設